

受けていますか?がん検診

問 市 健康づくり課(山東庁舎) ☎55-8105 ☎ 55-2406

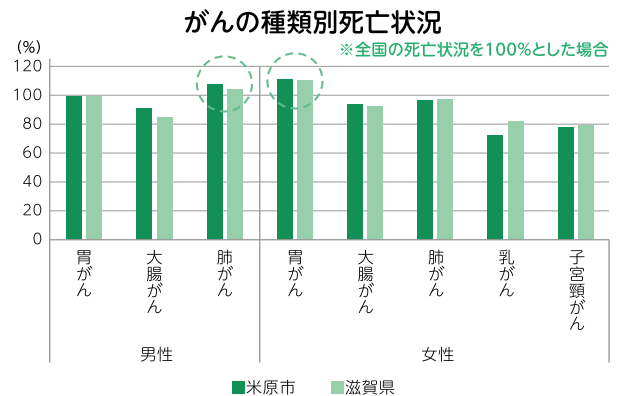
現在、日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっているといわれます。県内でも年間に約9000人ががんと診断され、約3500人が亡くなっています。がん検診は、がんの可能性があるかどうかを見極める検査です。症状が出る前の早期がんを発見し、がんのリスクからあなた自身と大切な人を守りましょう。

| 伊吹山テレビ |
3月12日号で
詳しく紹介します

滋賀県と米原市の死亡状況

平成30年、県内で亡くなった人のうち、男性の31%、女性の24%は、がんによるもので、種類別にみると、肺がん、胃がん、大腸がんを原因とするものが、男性では約50%、女性では約40%を占めています。

市内ではがんを原因として亡くなった人は男性が34%、女性が19%に上り、全国や県内の他市町と比べて、男性は特に肺がん、女性は胃がんで亡くなる人が増えています。

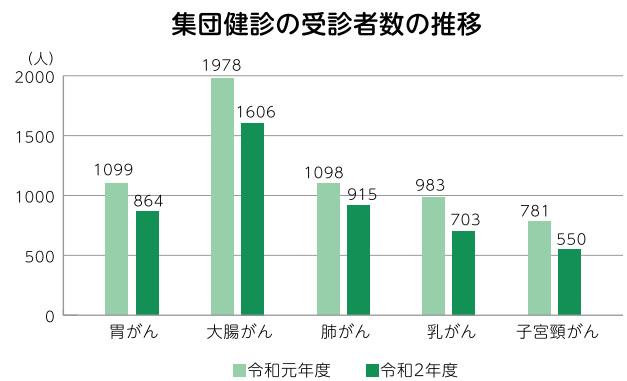


(滋賀県衛生科学センター)

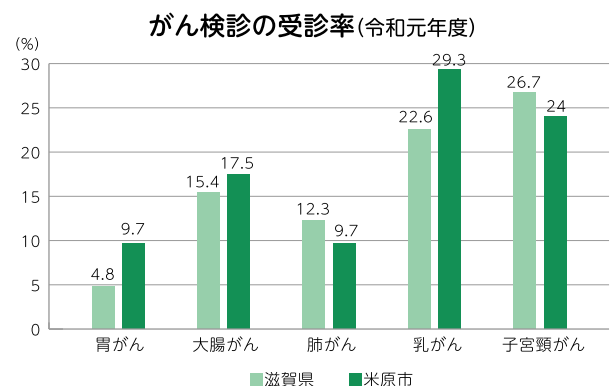
市内の受診率が昨年より2割減!

新型コロナウイルス感染症対策に伴う外出自粛等の影響からか、今年度は昨年度に比べ、受診率が8割程度にとどまっています。

特に乳がん、子宮頸がんは受診率が大きく下がりました。



市の受診率を県内平均と比べると、胃がんや大腸がん、乳がんでは高くなっているものの、いずれのがん検診でも、国が目標とする受診率50%にはまだまだ届いていません。



がん専門医に聞きました！ 知っておこう！がんのことQ&A

Q

どうして検診を受けたほうがいいのでしょうか

A

通常、がんの自覚症状が出るのはステージ3相当といわれます。検診では症状がまだ現れない(ステージ0~1相当)早い段階でがんを見つけることができ、早期の治療につなげられるからです。

※がんのステージは0~4で表します。

Q

現在の日本では、がんが治る確率は約70%とされています。
がん検診で見つけた場合は、どのくらい治るのでしょうか

A

約95%です。治療の効果を高めるためには、検診を受けて早期にがんを見つけることが大切です。

Q

自覚症状が現れるステージ3では治せる確率*はどの程度になってしまうのでしょうか

※がんと診断されてから一定期間後に生存している確率

A

病気や種類にもよりますが、一般に**50%以下**です。自覚症状が現れるころには、リンパや隣の臓器に転移し、手術でも取り除けない場合が出てきます。また、抗がん剤や放射線治療に伴う費用や時間、体力の消耗から、心にも体にも大きな影響が出てしまいます。

助かる命を救うために—

私たちの体内では1日に5000個もの細胞が、がんの原因になる突然変異をしています。このうちほとんどは、免疫の働きで除かれていきますが、1つでも見逃された細胞があると、それが徐々に大きくなって、がんが進行してしまいます。

しかし、早い段階でがんが見つければ、その分治る確率も高くなります。大切な命を守るために、ぜひ定期的に検診を受けてください。



市立長浜病院
副院長兼がん対策推進室管理監
伏木雅人先生

早期発見のために… 令和3年度集団健診 申込受付中！

市ではがん検診を、医療機関での個別検診と、保健センターなどで行う集団健診*で実施しています。また、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは年間を通して個別検診が可能です。

※令和2年度の集団健診は終了しました

申込方法 広報まいばら3月1日号とともに全戸配布された「健康診査・がん検診ガイド」の申込用紙を記入し、市へ郵送してください

申込期限 3月31日(水)

実施医療機関や、受診方法など詳しくは、「健康診査・がん検診ガイド」または、市公式ウェブサイトをご覧ください。

